



花開く活力、  
広がる笑顔、  
政令市新潟

# 新潟市健康寿命延伸計画

## 〔アクションプラン〕

— 地域との協働による健康づくりに向けて —

**改訂版**

令和 5(2023)年 3 月

新潟市保健所 健康増進課

## 7 取組方針と目標設定

新潟市の全市的な課題及び取り組むべきポイントは以下の4つです。

- ① 健診受診率の向上
- ② 食塩摂取量の抑制
- ③ 運動習慣の定着
- ④ 健康経営の推進

これら健康寿命延伸に向けた取組の目標値は下記のとおりです。

指 標	現状値	目標値
特定健診受診率 (法定報告値(速報値)国民健康保険)	37.0% (R3(2021)年度)	60% (R5(2023)年度)
減塩を意識し、できていると思う人の割合 (できている、だいたいできている人の割合) (新潟市民の健康づくりに関する調査)	48.2% (R2(2020)年度)	60%以上 (R5(2024)年度)
1日60分くらい体を動かす <sup>※</sup> 生活を実践している者の割合 (新潟市民の健康づくりに関する調査)	男性 43.0% 女性 46.6% (R2(2020)年度)	40%以上 (R5(2024)年度)
健康経営に取り組む企業・団体数 (市の健康経営認定制度における新規認定企業・団体数)	332 事業所 (R4(2022)年度)	265 社・団体以上 (R5(2024)年度まで)

目標値は、新潟市健康づくり推進基本計画(第3次)によるものとします。

※「体を動かす」とは、日常生活における労働、家事、通勤・通学などを含みます。

また、各区で実施する取組については、地域特性に合わせ、各区において目標等を定め、取り組んでいくこととします。

## ⑧ 区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

### 北区の現状と課題

- 健診受診率が市平均より低いことから、健診受診者を増やすことが必要。
- 血圧が高い人の割合、血糖が高い人の割合が市平均より高く、脳血管疾患の標準化死亡比が高いため、動脈硬化や脳血管疾患予防の啓発が必要。
- 健診質問票より運動習慣のある人の割合が少ないことから、健康づくりの運動について取組が必要。

### 特定健診受診勧奨

- 事業目的：健診受診率を高めるため、受診勧奨や啓発普及を図ります。
- 事業概要：国保新規加入者へ健診受診方法の周知、受診勧奨を行います。  
2年連続未受診者へ看護職による健診受診勧奨を行います。  
「検診カレンダー」を全戸配布し、「健康づくりのミニブック」を関係機関に設置することで、健診受診の重要性を啓発し、健診の受診方法を周知します。
- 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%

### 生活習慣病予防教室

- 事業目的：動脈硬化に関する教室を行い、重症化予防を図ります。
- 事業概要：動脈硬化に関する2回コースの教室を3回行います。
- 目標値等：参加者数 定員の6割

### 始めよう運動！健康づくりスタートセミナー

- 事業目的：運動初心者が、健康づくりのための運動について基本的な知識と実技の習得ができるよう支援します。
- 事業概要：運動講座を北地域と豊栄地域で毎月1回実施します。
- 目標値等：参加者数 定員の6割

## 北区てくてくウォーク

- 事業目的：運動習慣のない人などが運動を始めるきっかけとなるよう実施します。
- 事業概要：ウォーキング体験を通して、ウォーキングの方法や効果の習得を支援します。  
運動普及推進委員と協働で、北地域と豊栄地域で各 1 回実施します。
- 目標値等：参加者数 20 人

## 北区もの忘れ検診（特色ある区づくり事業）

- 事業目的：認知機能の低下が疑われる人を早期に発見し、適切な支援・サービスにつなげます。
- 事業概要：北区に住民票がある 65 歳以上の希望者に対し、新潟市国保加入者の特定健診、後期高齢者健診を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。
- 目標値等：受診者数 1,000 人

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。

## ⑧区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

### 東区の現状と課題

- ・特定健診を3人に2人は受診していないことから、疾病の早期発見のために健診受診者を増やすことが必要。
- ・脳梗塞の標準化死亡比、脳血管疾患で医療機関を受診する人の割合、健診の結果から、血糖・血圧・脂質の3項目とも要指導以上の割合やメタボ該当者の割合が市の平均より高いことから、様々な世代の区民が積極的に健康づくりに取り組めるよう環境整備が必要。

### 健康寿命延伸プロジェクト

- 事業目的：健康づくりに関心のある区民も関心のない区民も含めた健康づくりの情報発信を行い、機運の醸成を図ります。
- 事業概要：「歩く（出かける）機会を増やす」ことや、新しい生活様式を踏まえて「生活習慣病予防を実践する」ことができるよう、庁内、地域、産業などと連携しながら区民の健康寿命延伸に向けた啓発を図ります。
- 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%  
（実施目標：ガイドブック4,000部作成、配布）

### 血糖値ダウンセミナー

- 事業目的：特定健診の結果、血糖値が保健指導判定値以上で医療機関を受診していない人を対象に保健指導を実施し、生活習慣の改善及び糖尿病の重症化を予防します。
- 事業概要：特定健診の結果、血糖値が保健指導判定値以上で医療機関を受診していない人を対象に保健指導を実施し、生活習慣の改善及び重症化を予防します。（3回×2コース実施）
- 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%  
血糖・血圧・脂質の3項目要指導者の割合の減少  
（実施目標：セミナー参加者数 100人）

### 生活習慣改善モニター

- 事業目的：メタボリックシンドロームの予備群、該当者の生活改善を支援します。
- 事業概要：区内のフィットネスクラブ等で実施する運動プログラム参加費を助成し、運動指導等による生活習慣の改善に向けた支援を行います。2年後まで健診結果や身体状況を追跡調査し、途中経過を区だより等で公表し動機づけとします。
- 目標値等：メタボリックシンドロームの予備軍、該当者の割合の減少  
血糖・血圧・脂質の3項目要指導者の割合の減少  
（実施目標：参加者数 18人）

## 親子食育講座

- 事業目的：基本的な生活習慣獲得層（小学生）へ健康づくりへの意識高揚を図るとともに、乳幼児期からお口の健康づくりに関する適切な行動がとれるよう支援します。
- 事業概要：小学 4～6 年生の親子を対象に、バランス食の調理講習会を実施します。また、子育て支援センター等を利用する親子を対象にむし歯予防講座を実施し、幼少期からの歯と食育などの健康づくりを行います。
- 目標値等：朝食をほぼ毎日食べる子どもの割合（小学 5、6 年生）100%  
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が 1 日 2 回以上の日がほぼ毎日の人の割合 80%以上  
12 歳児一人あたり平均むし歯本数 0.36 本以下  
（実施目標：講座等参加者数 20 組）

## 歯っぴーすまいるプロジェクト

- 事業目的：子どものむし歯の改善に向け、こども食堂・保育園・幼稚園・放課後児童クラブ等と連携した歯と食育の健康づくりを行います。
- 事業概要：区内 10 か所のこども食堂に来所する親子を対象に、歯科衛生士、栄養士等による歯と食育の健康教育・健康相談を行います。保育園・認定こども園・幼稚園、放課後児童クラブに、歯科衛生士によるむし歯予防教室を行うなど、むし歯の改善に向け、取り組みます。
- 目標値等：12 歳児一人あたり平均むし歯本数 0.36 本以下  
（実施目標：こども食堂における歯と食育の健康相談会 10 回、保育園・認定こども園・幼稚園・放課後児童クラブ むし歯予防教室 30 回）

## 地域と取り組む！高齢者見守り訪問・介護予防（特色ある区づくり事業）

- 事業目的：健康づくり・介護予防のため、小集団による教室を地域とともに実施します。
- 事業概要：地域の課題に応じた健康づくりや介護予防をテーマに、地域コミュニティ協議会（以下、コミ協）と連携した講座を開催します。
- 目標値等：要介護認定率を上げない  
（実施目標：コミ協との協働による健康づくり介護予防講座 2 コミ協）

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。

## ⑧ 区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

### 中央区の現状と課題

- 健診受診率が市平均を下回っており、40歳代、50歳代の受診率が低い。また、全体の未受診者のうち約5割が3年連続未受診であることから、健診受診者を増やすことが必要。
- 健診の血糖有所見率が市平均と比べ高く、国保加入者の糖尿病受診率が高い。健診を受けた方の半数以上は血糖が高い状態にあることから、糖尿病予防対策に取り組むことが必要。

### レッツ トライ！糖尿病予防セミナー（講話編）

- 事業目的：区の健康課題である糖尿病を予防するため、リスクの高い区民を対象に糖尿病の発症予防及び重症化予防に取り組みます。
- 事業概要：糖尿病の疾患や発症予防の重要性、適切な生活習慣として食事やお口の健康管理について学ぶセミナーを開催します。
- 目標値等：セミナー参加者の疾患とHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）について理解できた割合 90%  
糖尿病予防のための食事・お口の健康管理の重要性の理解度 90%

### レッツ トライ！糖尿病予防セミナー（運動編）

- 事業目的：区の健康課題である糖尿病などの生活習慣病を予防するため、運動を始めるきっかけ作りと運動習慣の定着を図ります。
- 事業概要：糖尿病などの生活習慣病を予防するための運動について、基本的な知識と実技を学ぶセミナーを開催します。
- 目標値等：運動の必要性や実技方法についての理解度 90%

### 地域で！ レッツ トライ！糖尿病予防

- 事業目的：区の健康課題である糖尿病について、正しい知識や予防につながる生活習慣の改善について啓発します。また、自身の健診結果を確認してもらえるよう、定期的な健診受診の勧奨を行います。
- 事業概要：地域団体へ栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士等の専門職を派遣し、糖尿病予防につながる生活習慣の改善について健康講座を実施します。
- 目標値等：実施団体数 3団体  
セミナー参加者の疾患・HbA1cについて理解できた割合 90%

## レッツ トライ！糖尿病予防の推進

■事業目的：区健康課題である糖尿病について、多くの区民に関心を持ってもらうために、関係団体と連携し、正しい知識や予防につながる生活習慣の改善について啓発し、罹患率の低下につなげます。また、自身の健診結果を確認してもらえよう、定期的な健診受診の勧奨を行います。

■事業概要：乳児の保護者を対象とした調理講座の開催や、児童の保護者へ健診受診と糖尿病予防の啓発を行うなど子どもを通じた保護者への情報発信を行います。  
さらに、商工会・商店街との連携、医療機関等との連携により、特に40歳代・50歳代の働く世代を新たな対象者とし、健診受診の勧奨と糖尿病予防に取り組みます。各取組において、マンガキャラクターの中央区健康づくりサポーター「中<sup>なか</sup>央<sup>ちゅう</sup>子<sup>こ</sup>」、中央区ヘモグロビンエーワンシー普及犬「エワン」を活用し、実施します。

■目標値等：関連機関との啓発実施回数 50回  
令和5年度 健診受診率 60%

## 庁内健康寿命延伸プロジェクト

■事業目的：区民が自分の健康に関心をもてるように、健康づくりの情報発信を進めます。

■事業概要：副区長をプロジェクトリーダーとして、各課で取り組んでいる事業と協働して実施するとともに、区全体で取り組めることを検討します。

■目標値等：令和5年度 健診受診率 60%  
糖尿病予防月間における庁内で連携した取り組み 実施する

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。

## ⑧ 区の現状と課題及び令和 5 年度の主な取組

### 江南区の現状と課題

- 40～50 歳代の受診率が低く、特定健診の受診率向上のための取組が必要。
- 要介護認定率が市平均と比較して高くなっていることから、介護予防の取組を充実させることが必要。
- 健診の結果、中性脂肪、血圧値、血糖値が要指導以上に該当する人の割合が市平均より高い。また、運動習慣のある人の割合が市平均より低い。

### 特定健診受診率向上対策

■ 事業目的：特定健診の受診率向上のために、健診の重要性の周知と受診勧奨を行います。

■ 事業概要：健診連続未受診者等への電話による健診受診勧奨を行います。  
区内小中学校において保護者向けの健診受診勧奨を行います。  
食生活改善推進委員と連携し、保健事業での減塩指導や健康レシピ普及を通して本人の生活習慣改善の意欲を高め、健診受診の重要性を普及します。  
ふれあい・ささえあい交流事業の健康コーナー運営を通して受診勧奨を行います。

■ 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%

### 30 歳代限定セルフケア健診

■ 事業目的：健診の受診機会が少ない 30 歳代を対象に簡易血液検査を実施することで、自らの健康意識を高め、40 歳以降の特定健診受診への動機づけを行います。

■ 事業概要：区内の健診を受診する機会のない 30 歳代を対象に郵送検査キットによる簡易血液検査を実施します。問診票と検査結果により、健康の維持・増進のための各種保健事業の紹介と特定健診の受診勧奨を行います。

■ 目標値等：30 歳代 受診者数 80 人

## いきいきヘルシー講座

■事業目的：地域の茶の間、老人クラブ、地域コミュニティ協議会の集まりにおいて高齢者の健康保持増進を図ります。

■事業概要：区の健康課題を共有した多職種（保健師、栄養士、歯科衛生士、食生活改善推進委員、運動普及推進委員等）とともに、地域の茶の間において健康レシピの普及、フレイル予防を目指した運動、栄養、歯科をテーマに健康教育を実施します。

■目標値等：地域の茶の間等 30 か所で実施

## 血管イキイキ！大作戦～動脈硬化を防ごう～

■事業目的：生活習慣病に着目した教室の実施により、生活習慣病予防や、運動や食生活などの生活習慣の改善を図ります。

■事業概要：特定健診の結果、血圧やコレステロール等の血液データが保健指導判定値以上で医療機関を受診していない人や希望者を対象に、生活習慣病予防教室を年6回実施し、生活習慣の改善及び重症化を予防します。

■目標値等：教室参加者数 60人

## 運動でヘルスアップ

■事業目的：生活習慣病予防と健康づくりのため、運動をきっかけとした生活習慣の改善と健康増進を図ります。

■事業概要：運動を始めたい方、生活習慣病を予防したい方を対象に、日常で継続できる運動をテーマに教室を年12回実施し、運動を始めるきっかけづくりと運動の定着化を図ります。

■目標値等：教室参加者数 100人

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。

## ⑧ 区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

### 秋葉区の現状と課題

- 40歳代～50歳代の健診受診率が低く、また地区ごとで受診率のばらつきがあることから、受診率向上に向けた取組が必要。
- 健診の結果、血糖がメタボリックシンドロームの判定基準値以上に該当する人の割合が8区で一番高いことから、糖尿病予防対策に取り組むことが必要。
- 健診質問票より、間食習慣の割合が高い・運動習慣のない人の割合が多いことから、生活習慣病予防への継続した取組が必要。

### 特定健診受診率向上のための対策

- 事業目的：健診の受診率向上を図るため、区民に健診の重要性の周知と受診勧奨を行います。特に国保新規加入者への受診勧奨を行います。
- 事業概要：国保新規加入者（全数）への受診勧奨及び事業を紹介し、健診受診につなげます。また、区役所内の健康コーナーで健診を受ける動機づけを行います。商工会議所と連携し、健診について会報に掲載してもらい、受診勧奨を行います。
- 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%

### 糖尿病予防対策

- 事業目的：糖尿病予防を目的に、区内の医療機関や大学と協働し区民の関心を高め、予防に取り組めるように意識付けを行います。
- 事業概要：区内の医療機関と連携し、血糖値測定を組み込んだ糖尿病予防相談会を2会場で開催します。新潟薬科大学や新潟商工会議所と連携し、健康レストラン登録店を増やし、秋葉区健康レストランプロジェクトを区民にPRします。
- 目標値等：健診結果において、HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）値6.0%以上の者が市の平均を下回る。

### 生活習慣病予防の取組

- 事業目的：生活習慣病予防のために、ハイリスク者を重点対象とし、生活改善できるよう支援します。
- 事業概要：生活習慣病予防教室を8回（中央型6回、地域型2回）開催します。
- 目標値等：生活習慣病予防教室の参加者数が、前年度より増加

## 持続可能なげんきな体！～12歳からのSDGs～

- 事業目的：健康寿命の延伸のため、子どものうちから健康的な生活習慣を身につけられるよう支援します。子どもの生活習慣を見直すことで、保護者や祖父母の生活習慣の改善につなげ、世帯での健康度をあげ、延いては地域全体の健康増進につなげます。
- 事業概要：自分のからだの状態を知り、健康に関心を持ってもらうため、小学校6年生を対象にジュニアドックを実施します。また、小学校6年生とその保護者を対象に生活習慣改善に関する健康づくり講座を実施します。
- 目標値等：ジュニアドックの受診率15%、健康づくりの講座の参加者数60組

## アキハ生涯げんき！～地域ぐるみでフレイル予防～

- 事業目的：身近な地域でフレイル予防やロコモ予防の実践方法の普及啓発を行い、住民が支え合いながら健康づくり活動を継続できるよう支援します。あわせて、子どものロコモ予防対策も展開します。
- 事業概要：地域包括ケア推進課事業のフレイルチェックを3圏域で行い、その後、口腔ケア・低栄養をテーマにした2回1コースのフレイル予防教室を圏域ごとに実施します。さらに、より身近な地域でフレイル予防講座を開催し、普及啓発を進めるとともに、放課後児童クラブ等に出向いてラジオ体操や運動を実施する等幅広い世代にラジオ体操の普及を進めます。ロコモ予防の普及サポーターフォロー研修会を1回実施し、サロン等地域でのロコモ予防運動の普及支援を行います。
- 目標値等：要介護認定率を上げない

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。

## ⑧区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

### 南区の現状と課題

- 健診受診率は市平均より高いが、目標値には達していない。
- 糖尿病医療費（国保）が平成30年度で一人あたり11,896円と全市平均10,134円と比べ高い。（8区中1位）
- 腎不全医療費（国保）も平成30年度で一人あたり15,444円と全市平均15,350円と比べ高い。（8区中4位）
- 特定健診質問票では、喫煙、毎日飲酒の割合が高く、運動習慣のある人が少ない。

### コミ協連携事業

- 事業目的：地域コミュニティ協議会（以下、コミ協）と連携し、健診受診率の向上を図ります。
- 事業概要：地域の行事等で幅広い世代に周知・啓発が行えるため、集団健診のPRを区内12コミ協へ委託し実施します。
- 目標値等：未受診者健診（ミニドック型集団健診）での健診受診者数 240人

### はかろう体重！あるこう南区！大作戦

- 事業目的：体重測定とウォーキングをきっかけとした区民の健康意識の向上を図ります。
- 事業概要：30日分の体重または歩数を記録し、終了したカードの提出者に達成賞を進呈します。地域の状況に応じたPRや声かけが可能なため、カード配布と回収をコミ協に委託します。
- 目標値等：達成者数 1,000人

## 健康づくりの推進（特色ある区づくり事業）

■事業目的：特定健診受診率向上と継続受診の定着を図るほか、食育・運動講座や糖尿病予防相談会を実施し、区民の健康づくりを推進します。

■事業概要：健康づくり講演会 1 回、食育・運動講座を 1 回、運動講座 1 コース 3 回を 1 回、糖尿病予防相談会を 6 回実施し、健康づくりや生活習慣改善のきっかけづくりとします。また、幼児を持つ親子を対象とした食育講座を 8 回実施し、将来を見据えた幼児期からの望ましい生活習慣の普及を図ります。加えて特定健診の受診率向上を図るため、保健師による電話勧奨を強化します。

■目標値等：講演会参加者 300 人  
食育・運動講座参加者 延べ 60 人  
幼児を持つ親子を対象とした食育講座参加者 250 人  
糖尿病予防相談会 延べ 36 人  
保健師の電話勧奨実施数 1,000 人

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。

## ⑧ 区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

### 西区の現状と課題

- 虚血性心疾患（心筋梗塞等）で医療機関を受診する人の割合が市平均と比べ高い。
- 健診の結果、血糖が要指導値以上に該当する人の割合が市平均と比べ高い。
- 健診受診率は、市平均とほぼ同等だが、目標値に達していない。

### 特定健診受診率向上対策

■ 事業目的：受診率を向上させます。

■ 事業概要：保健活動を通して、区民へ特定健診を受診することの必要性の啓発を継続して行います。併せて、西区限定未受診者健診では、特定健診の継続受診の必要性について啓発するとともに、電話等による受診勧奨を実施し継続受診を促します。

【小新】（モデル地区事業5年目）

令和元年度から3年間、小新地区の特定健診未受診者に対し訪問・電話勧奨した結果、受診された方に電話・文書で継続受診の支援を行います。

（中野小屋地区・黒埼地区のモデル地区事業は終了しています。）

■ 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%

### 動脈硬化予防対策事業「西区発！健康アップカレッジ」

■ 事業目的：生活習慣病の原因となる動脈硬化（特に糖代謝異常）に焦点をあて、西区民の動脈硬化を予防します。

■ 事業概要：ハイリスク者（血糖が要指導値以上）を対象に動脈硬化の予防をテーマとした教室を委託で開催します。

■ 目標値等：事業参加者数 60人

## 西区健康ステップアップ事業

- 事業目的：生活習慣病や介護予防など区民自らが健康寿命延伸に向けた活動に取り組めるよう支援します。
- 事業概要：生活習慣病予防や介護予防をはじめ健診への受診勧奨など、健康寿命延伸のため、地域のあらゆる団体からの依頼を受けて実施する出張型の健康教室を通して、区民がいつまでも元気でより健康的な生活を送れるよう支援します。
- 目標値等：実施回数 25回

## ハイリスク者健康相談事業（介護予防普及啓発事業）

- 事業目的：健診の結果、血糖が要指導値以上に該当する人が自身の生活を振り返り、生活習慣を改善し、生活習慣病の予防及び重症化予防を目的に健康相談会を実施します。
- 事業概要：健診の結果、血糖が要指導値以上の対象者に個人案内をし、予約制で保健師、管理栄養士による健康相談を実施します。
- 目標値等：事業利用者数 100人

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取り組みを検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。

## ⑧区の現状と課題及び令和5年度の主な取組

### 西蒲区の現状と課題

- 脳血管疾患の標準化死亡比が全国平均の約 1.35 倍高い。新潟市 8 区の中でも最も高い。
- 特定健診受診率は、市平均とほぼ同等であるが、目標値に達していない。
- 重症疾患で医療機関を受診する人の割合が全市と比べ高い。また、健診質問票では、運動習慣のない人・夕食後の間食をする人が全市平均より高く、脳血管疾患につながる生活習慣をしている人が多いことから、生活習慣病予防の意識を高めることが必要。

### 特定健診受診率向上・生活習慣改善対策

- 事業目的：特定健診受診率、特定保健指導・保健事業の参加率を向上させます。
- 事業概要：地域の組織と連携し、さまざまな機会をとらえた特定健診・がん検診・未受診者健診（施設型）の受診勧奨を実施します。  
健診受診後の保健指導をはじめとする、各種保健事業の活用につなげます。
- 目標値等：令和5年度 健診受診率 60%  
初回保健指導実施率を維持、健康教室・健康相談延べ参加者数の増加

### 生活習慣改善につなげる健康教育・健康相談

- 事業目的：自らの健康意識を向上させ、生活習慣の改善に向けた行動変容につなげるために、健康教育・相談体制を充実させます。
- 事業概要：健康教育・健康相談を実施します。
  - ①糖尿病相談会（5会場で年36回）
  - ②からだ測定！体操教室（概ね月1回 年9回）
  - ③血管いきいき教室（2回1コースを年2回）
- 目標値等：健康教育参加者数・健康相談参加者数の増加

## にしかん健康プロジェクト（特色ある区づくり事業）

■事業目的：健康寿命の延伸に向け、子どもからお年寄りまで健康意識を向上させるため「栄養」「体操」「お口の健康」の大切さを地域に普及させる活動やウォーキングの習慣化に取り組みます。

■事業概要：「栄養」「体操」「お口の健康」の大切さを地域に普及する活動を実施します。「参加」「体験」「定着」をすすめ、子どもからお年寄りまで健康寿命の延伸に向けて、健康意識の向上を目指します。

- ①子どもからお年寄りまで各期に向けた普及を実施
- ②ウォーキングチャレンジの実施
- ③新規 にしかんやさいのレシピを活用した住民参加型事業
- ④専用サイトを活用した、にしかん健康プロジェクトの周知

■目標値等：健康づくりに関する普及活動の延参加者数の増加

## 地域と取り組む健康づくり（介護予防普及啓発事業）

■事業目的：健康寿命延伸に向け、地域に出向き健康づくりを推進します。

■事業概要：地域の課題や資源に応じて、介護予防をテーマに健康教育・健康相談を実施します。

■目標値等：地域コミュニティ協議会、老人クラブ、地域の茶の間等 30 か所で実施

※一部、国保データ等、掲載データ以外のデータに基づき取組を検討しているため、掲載データの傾向とは異なる場合があります。